

NewポリマーCPカート

新型カートリッジをテストしてみました!



番外編
file.05

■NewポリマーCPカートリッジとは?

今回は銃本体では無くカートリッジ(弾)のお話。タニオ・コバ社から新たに発売されるNewポリマーCPカート。金属製のイージーCPカートのプラスチック版です。イージーCPカートの発火性能とオープンブラカートの手軽さを合わせ持ったカートリッジ。先日モデルガンのイベントにてNewポリマーCPカートの試作品を手にいれることができたので、いろいろテストしてみました!



現在このカートリッジを使えるのはタニオ・コバ製のGM-7と次期発売予定のGM-7.5(ガバメントシリーズ70)のみです。

■気になるコストパフォーマンスは?

1発のコスト

- ・NewポリマーCPカート1発 125円
- ・火薬1キャップ 4円
- ・ピストンカップ1カップ 4円

合計 133円

NewポリマーCPカート(実物大)

※NewポリマーCPカートは定価20発入り2,500円で2015年8月中旬発売予定。

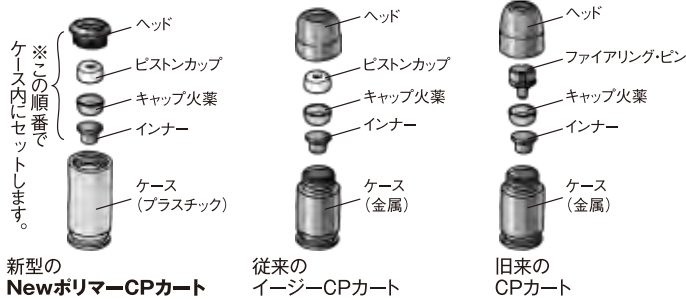
40回使った時の1回のコスト

- ・NewポリマーCPカート 3.125円 (125÷40回=3.125円)
- ・火薬1キャップ 4円
- ・ピストンカップ 0.8円 (5回に1回交換で40回撃つと8個必要、8個×4円=32円、32円÷40回=0.8円)

合計 7.925円≒8円

1発の発火コスト
約8円

●CPカートリッジの構造と種類 (CPとはキャップ・パッキンの略です。)



新型のNewポリマーCPカート

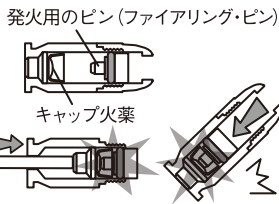
従来のイージーCPカート

旧来のCPカート

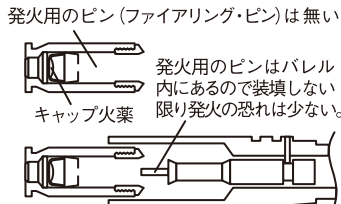
●NewポリマーCPカートは安全性の高いカートリッジ

旧来のCPカートは構造上ケース内に発火用のピンがあるので強い衝撃や不発の火薬を抜き取る時に暴発する可能性がゼロではありません。一方、ポリマーCPは発火用のピンがケース内に無いので、強い衝撃や不発の火薬を抜き取る時も暴発の可能性はありません。

○旧来のCPカート



○NewポリマーCPカート



■テスト1 1つのカートリッジを何回使い回せるか?

NewポリマーCPカートはケース部がプラスチックなので金属ほどの強度はないはず、はたしてどのくらいの耐久性があるのかテストしてみました。

方法は、GM-7を使用し、火薬を込めたNewポリマーCPカートを一発装填し、発火。毎回火薬を入れ替えて、何回まで発火及びブローバックできるかの耐久テストです。

結果は、21発目と40発目の2回クリーニングをして、なんと45回まで快調に発火・ブローバックしました。46回目以降はスライドの後退不足でいくらかクリーニングをしても元には戻りませんでした。この結果から少なくとも約40回程度の発火に耐えるだけの耐久性があるようです。

途中でブラカートが破損するのではないかと考えていたのですが、ケースの中が傷だらけになるだけでヒビ等の致命的なダメージはありませんでした。正直、予想以上の耐久性でした。

■テスト2 クリーニングせずに何回撃てるか?

これも上記同様GM-7を使い1発のNewポリマーCPカートをクリックング無しで何回撃てるか、ただしピストンカップは5回に1回交換という条件でテストしてみました。

結果は、20回までクリーニング無しで動き、21回目にスライドの後退不足がおきたので、クリーニングしたところ再び快調に動きだしました。かなりずぼらな扱いでも動いてくれそうですが、基本は毎回クリーニングがいいですし、その方が結果的にカートリッジの寿命を伸ばすことになると思います。

2つのテスト中カートリッジの汚れによるスライドの後退不足はあったものの、不発は1回も無かったことは特筆すべきことではないでしょうか。また、デトネーターの汚れによる動作不良も認められませんでした。この感じだと銃本体のクリーニング無しでも100発は撃てそうな感じがします。

使い回し回数
40回

クリーニング無しで
20回

さらに裏技として専用のピストンカップの代わりに、撃ち空キャップにポンチで2.5ミリの穴を開けて使い、1つのカートリッジを40回使い回せばピストンカップ代0.8円を節約でき、なんと1発あたり7.2円というコストパフォーマンスを実現できます!! 紛失しても悲しくならないのが非常にいいですね。

■初心者にはやさしいカートリッジかもしれない!

初心者にとって銃本体以外、特にカートリッジの数をそろえるにはコスト的にもきついものがありますが、このNewポリマーCPカートであれば比較的リーズナブルに購入することができそうです。

個人的には火薬のセットが簡単で価格も安いプラスチック製のオープンカートが1番だと思います。しかし、コンディションによっては2マガジンほどでデトネーターのゴムが使えなくなる場合もあり、デトゴムやブラカートの交換時期の見極め等多少の慣れが必要なものもあります。その点NewポリマーCPカートはブローバックしなくなったら新しいカートリッジに交換すればいいので、初心者にとっては扱いやすく、気軽にモデルガンの発火を楽しめるのではないかと思います。

■将来的にはやはりフルオートマシンガン?!

安全性、発火性、コストパフォーマンスにおいて非常に高いポテンシャルを持った新型カートリッジ。このカートの真骨頂はやはりフルオートでバリバリ撃つことではないでしょうか! フルオートで使うとなれば数が必要になります。60発そろえるととなると、金属のイージーCPカート

では19,800円。NewポリマーCPカートであれば7,500円と半額以下でそろえます。快調動作でフルオートも夢ではないかもしれません! もちろん初心者の方も比較的手軽にフルオート連射が楽しめることでしょう。

タニオ・コバ社にはぜひともフルオートのモデルガンの発売をお願いしたいですね!



小林社長! 連射で連なるNewポリマーCPカートを見れる日を心待ちにしております!

名前: 加藤さん
モデルガンのカートリッジから生まれた女の子。個人的に作って欲しい45ACPのマシンガンMAC10を撃ってもらいました。

